

# 第6回マネ会議事録

文責：三上

2011/8/17(水) 13:10~15:50(学生会館 W406・407)

出席者：全 32 名中 19 名 議長：小田 書記：三上・村岡

## <会計（演奏会）演説>

### ○和氣への「質疑と応答」

- ・ 『海外への短期留学』は、どのくらいの期間(長さ)で考えているのか？  
——「8月中くらいの一ヶ月間と考えているが、細かい部分はまだ未定。」
- ・ 「なぜ、一般会計ではなく、演奏会会計に立候補したのか？」——「一般会計は演奏会当日にも仕事があり、演奏に集中できないと考えたから。」
- ・ 「滞納などの問題に対しての処置は？」——「今のところ、我々の代には問題がないように感じるが、部長らが主導の会計会議には参加していきたい。」
- ・ 「会計の“運営”についての意気込みは？」——「演奏会前日もオンステ代集金を行っているようではゴタゴタしてしまう。もう少しはやめに集金していきたい。」
- ・ 『短期留学』という“私用”で来年の夏合宿に出られないというのは一種の責任逃れではないか？——「確かにそうだが、仕方がない。その時だけは、チーフの方に業務をお願いしようと考えている。」
- ・ 「オンステ代集金をはやめる、ということは他マネとの連携に支障や軋轢を生じさせはしないか？」——「集金内容の大幅な見通しは2、3週間前には出ているので問題ない。」
- ・ 「高校の時はどのような集金活動をしていたのか？」——「体育祭でのTシャツ代を集金し、銀行に振り込むなどの活動。」
- ・ 「いまだ代金を未納している人への対策は？」——「今までは、送別演奏会のオンステ代集金時に誓約書を書かせる処置を取ってきた。これが有効。」
- ・ 「練習への高い参加率は維持できるか？」——「一年中、すべての練習に参加できるという保証は無いので、その意味でも一般会計ではなく、演奏会会計に立候補した。ただ、もちろん、積極的に参加していくつもりである。」
- ・ 「演奏会会計の立場から一般会計に協力できる場所は？」——「一般会計には細かな集金活動が多い。手が足りなくなりそうであれば、積極的

にその手伝いをしたい。」

## 【仮承認・非承認】

- ・ 和氣 仮承認：17名 非承認：1名 よって**仮承認決定**  
※ 投票人数の母数は、出席者19名から演説者1名を引いた18名である。

## <国内演奏旅行マネ演説>

### ○吉澤への「質疑と応答」

- ・ 「他マネとの連携はどのように行っていききたいか？」——「基本は、今までどおりの運営連携をしていきたい。」
- ・ 「演奏旅行の行き先についての案はなにかあるか？」——「稲門会に話を持っていくところから演旅マネの仕事がスタートするため、相手先次第である。ただ、現在はOBや高校（早稲田佐賀高校）との関係から“北九州”を中心に検討している。」
- ・ 「“海外”の演奏旅行については、どのような運営を考えているか？」——「“国内”の演旅マネという立場であるから、基本的に“海外”の演旅に対して、こちらから案は出していくという考えは今のところない。ただ、海外演旅の話が来たら、その決行は積極的に検討していきたいと思う。」
- ・ 「演旅マネの人数について、何か意見はあるか？」——「もし、我々の代がラトビアに行くことになるのであれば、仕事量の関係から、もう一人欲しいところである。ただし、基本的に一人でも仕事はこなせると思う。」
- ・ 「各地に演旅の話を持っていくのにあたって、我々の方から積極的に情報をオープンしていく方針は？」——「同期には、事前に行き先などをしっかり伝えていきたい。」
- ・ 「演奏旅行の演奏当日、稲門会とのやり取りや演奏会運営は臨機応変にできる自信はあるか？」——「ある。」
- ・ 「今後の演旅には基本的に出られる保証はあるか？」——「ある。特に、この代の演旅マネを一人だけで運営する場合には、出られるようにする。」
- ・ 「行き先に関して、『ここに行きたい』等の願望はあるか？」——「グリーンメンの知り合いが多くいる場所を訪れたい（岡山あたり）。また、北陸や四国など、“地方”を攻めていきたい。」
- ・ 「今まで一度も訪れていない場所に演旅として行く場合、他マネとの協力は考えているか？」——「部長・外政と協力していきたい。特に宣伝面では外政に尽力してもらいたい。また、1学年上の演旅マネの方にも協力

を仰ぎたいと考えている。」

## 【仮承認・非承認】

・吉澤 仮承認：18名 非承認0名 よって**仮承認決定**

## <印刷マネ演説>

### ○村田への「質疑と応答」

- ・ 「印刷マネは、他マネから業務を受け取る“受動的なマネ”となってしまうが、他マネとの兼任は考えているか？」——「書道マネをやっている関係で、演奏会前は忙しくなるため、その期間に重ならない範囲のマネとの兼任なら考えている。」
- ・ 「印刷マネは兼任できるはず。家が大学に近いから等の理由で印刷マネに就いても責任はついてこないのではないかと感じた。このことを踏まえて、改めて、兼任は考えるか？」——「まだ、これといった具体的なマネとの兼任については考えていない。」
- ・ 「代々、印刷マネは内政との兼任が多かったことについて何か意見は？」——「そのことに関してはあまり、考えたことはなかった。ただ、内政を含めた他マネとの兼任は考えてみる。」
- ・ 「印刷マネの人数について、何か思うところはあるか？」——「人数は多いに越したことはないと思う。」
- ・ 「人数を増やすことのメリットは？」——「急に仕事を頼まれても、すぐに誰かが対応できるという点。」
- ・ 「人数が多いということは連絡が面倒くさくなるということでもある。また、人数を増やす必要のないマネの人数を増やしても意味は無いのでは？」——「連絡が面倒くさくなるという面に関しては理解している。人数に関してはあまり思い至ってなかった。」
- ・ 「『サークルを陰から支えていく』という点は素晴らしいと思うが、他にも多数のマネがある中でなぜ印刷マネを志望したのか？」——「新勤時に印刷物の運搬等、先輩のお手伝いをしたが、その時あまりにも人手が少なく、苦勞した例があったから。」
- ・ 「家が近い、ということはどのマネにおいても利点であると思うのだが、それでもなぜ印刷マネに立候補したのか？」——「自分自身は、あまり表に立って意見を言うのは苦手な性格であるため、陰から他マネ（新勤時であれば学内マネ）の手助けをしていきたいと考えた。」

## 【仮承認・非承認】

- ・ 村田 仮承認：14名 非承認：4名 よって**仮承認決定**

## 【意見】

- ・ 「確かに村田は、あまり表立って話をするタイプではないかもしれない。ただし、だからといってそれを理由に、受動的マネである印刷マネに立候補したのであるならば、少し納得できない。『忙しいから』という理由で印刷マネを、“消極的に”選んだのかもしれないと判断してしまった。」
- ・ 「印刷マネは一人で十分であると思う。」
- ・ 「是非、他マネと兼任してほしい。」

## <外政演説>

### ○村岡への「質疑と応答」

- ・ 「外政業務はかなり忙しいと思うが、授業との両立は？」——「法学部の授業は1、2年次は大変だが、3、4年になればそれほどでもないため、予定は立てやすくなる。また、外政の相方ともうまく分業していきたい。」
- ・ 「現在の広告は合唱人向けの構成になっているが、一般人の層に対してはどのようにしていく方針か？」——「宣伝・広告活動は、一般の人に対しても積極的に働きかけていきたい。」
- ・ 「宣伝がどうしても『合唱っぽく』感じられてしまうのだが。」——「ポップな感じで、どのような層の人にも訴えかけられるような宣伝・広告を作っていきたい。」
- ・ 「具体的には、どのような相手に対して宣伝をしていくのか？」——「老人ホーム等、中・高年層を中心とした場所。これからも調べていきたい。」
- ・ 「早混や、早合等、学内の合唱団体との関わりはどのように行っていくか？」——「VEFを活用したい。特に、我々の代はVEFにおいて幹事の役職となるので、どんどん活動していきたい。また、新勧時には、早稲田の合唱団体全体でのミニ演奏披露等も検討している。」
- ・ 「早稲田大学内の合唱団と交流会のような形式で関わる機会は？」——「あまりに人間関係を広げすぎると、その分、関わりが希薄になってしまう恐れもあるため、あまり積極的には考えていない。」
- ・ 「外政の先輩には、自分の方針は伝えたか？」——「直接、我々の運営に関わる現3年生の方には話した。」

- ・ 「特ステの収入が4：6であることに関して意見は？／特ステの報酬は卒団するまで受け取れないことになっているが、団員の“やる気”の観点から、その点はどう思うか？」——「サークル自体に報酬をストックしておくことも大事だと思うので特別、問題ではない。／交通費に関しては、即時引き渡しは頻繁に行われているので、団員のやる気の面はそこまで問題ではないと思う。」
- ・ 「特ステにおいて、人手がなかなか集まらないことに対する対策は？」——「個人帳簿等で各人の特ステ参加状況を確認して、あまりにも参加していない団員（特に現2、3年生で）がいれば、直接話し合いたいと思う。ただ、1年生に対してはこの処置は取らない。」
- ・ 「外政の立場から、特ステの歌のクオリティについてはどう思うか？」——「特ステ等に備えて、個人個人の音とりに対する意識を日頃から高めていきたい。また、新譜は早めに受け取れるように交渉していきたい。」

## ○栗原への「質疑と応答」

- ・ 「特ステの報酬設定に関して、会計とは話をするつもりか？」——「その件に関しては、総会での提案・会計との話あいも検討したい。」
- ・ 「早稲田大学内の合唱団との交流については？」——「相手ともしっかり話し合って検討したい。」
- ・ 「外政の立場から、特ステの歌のクオリティについてはどう思うか？」——「特ステは、まず、人数を集めることが大事。各人の自己練習等も積極的に促していきたい。」
- ・ 「愛唱曲集で自パートはしっかり歌えるのか？」——「歌える。」
- ・ 「ラトビア関連の業務は、部長に引き継ぐのか、外政に引き継ぐのか？」——「どちらの役職になっても、自分が引き継いでいきたい。」
- ・ 「栗原が外政として、少人数の特ステに出た場合、練習系に負担をかけてしまうのではないか？」——「自分自身、しっかりと練習していく。」
- ・ 「現在の広告は合唱人向けの構成になっているが、一般人の層に対してはどのようにしていく方針か？」——「宣伝に行った時に、一言説明を入れる等の工夫をし、自分自身もパンフレット作成に携わっていきたい。」
- ・ 「練習系や他マネと積極的に連携していけるか？」——「しっかりと連携していきたい。」

## 【仮承認・非承認（外政）】

- ・ 村岡 仮承認：19名 非承認：0名 よって**仮承認決定**
- ・ 栗原 仮承認：18名 非承認：1名 よって**仮承認決定**

※外政演説の前に、遅刻者1名が現れたため、この外政演説から投票者の母数は19名となっている。

## <OB 担当演説>

### ○原田への「質疑と応答」

- ・ 「原田は今までに、出ていない演奏会がいくつかあるが、理由は？／OBへの影響は？」——「他サーでの和太鼓演奏等の都合で忙しかった。これからは、グリーに対して積極的に関わっていく。／東京稲門グリーのOBに対しては、以前のOB四連で話してあるので問題はない。」
- ・ 「酒への対処は？」——「酒が弱いことは、先方にも事前に伝えてあるし、OB担当はどちらかという焼酎を“つくる”側の立場であるから、大丈夫。」
- ・ 「他マネとの兼任は？」——「週1回、東京稲門グリーを訪問しなくてはならないので兼任は難しい。」
- ・ 「OBから見た自分の外見に関して何か思うところはあるか（茶髪であるという点）？」——「今までは、特にOBから指摘されたことはない。ただ、週1回という形でも髪を黒く染める覚悟はある。」
- ・ 「東京稲門グリーに現役団員を連れていくななんて初耳だったのだが？」——「今までは、あまり他団員にオープンにすることなく、部長やステマネを中心に連れていっていたようである。同時に連れていける団員は1、2人。こちらから逐一、団員をピックアップして連れていきたい。OBと会うことは、現役団員にも良いモチベーションを与えるということを意識したい。」
- ・ 「今後の演奏会にはオンステできるか？」——「できる。これからは、グリー優先で、と考えている。」

### 【仮承認・非承認】

- ・ 原田 仮承認：19名 非承認：0名 よって**仮承認決定**

### 《連絡》

まだ、ノンマネにも特定マネにも立候補していない人が何人かいる。すでに仮承認を得た者の“本承認”にも移りたいので、できるだけ早めに立候補するように心がけてほしい。